

? 調査概要

調査目的： MRの総合評価/改善ポイントの明確化
 調査方法： インターネット調査
 調査対象： 全国の臨床医

有効回答： 15,214s (2025年2月)
 調査期間： 年2回 (2月・8月)
 調査主体： 株式会社インテージヘルスケア

MR総合評価

※Rep-iではMRの評価を「No.1」「高」「普通」「低」の4段階で評価。
 下記ランキングでは「No.1」+「高」の合算。
 ※下記結果は診療科問わずTOTALで算出（絞込みも可）

全ベース

2024年8月結果	2025年2月結果
1 第一三共	1 第一三共
2 大塚製薬	2 大塚製薬
3 MSD	3 MSD
4 アストラゼネカ	4 アストラゼネカ
5 ツムラ	5 ツムラ
6 アステラス製薬	6 アステラス製薬
7 武田薬品	7 武田薬品
8 田辺三菱製薬	8 エーザイ
9 エーザイ	9 リリー
10 ファイザー	10 田辺三菱製薬



面談ありベース(実サンプル20以上)

2025年2月結果	New: 2024年8月 TOP20圏外
1 ヴィーブヘルスケア	11 旭化成ファーマ
2 参天製薬	12 ツムラ
3 千寿製薬	New 13 エイエムオー
4 JCRファーマ	New 14 インスメッド
5 第一三共	15 MSD
6 丸石製薬	16 アッヴィ
7 ルンドベック	17 リリー
8 アストラゼネカ	New 18 日本メジフィジックス
9 大塚製薬	New 19 参天アイケア
10 バクスター・ジャパン	20 日東メディック

2025年2月度調査は240メーカーを対象に評価を聴取

製薬メーカー（一部薬剤を販売している医療機器メーカー含む）のうち、15,214サンプルの中で1件でもMRとの面談認知を得たメーカーの評価を確認。全ベースTOP10では、上位7社は前回の順位を維持する結果となった。面談ありベース（面談認知している医師を対象）においては、ルンドベック（前回12位）、アストラゼネカ（前回14位）、バクスター・ジャパン（前回19位）、ツムラ（前回17位）、インスメッド（前回21位）が前回から5位以上順位を上げる結果となり、本調査では新たに4社がTOP20にランクインした。

本調査結果や分析例に関するお問い合わせは弊社担当者または[お問い合わせフォーム](#)へご連絡ください

*記事本文並びにデータを無断で転載されないようお願い申し上げます

2025年2月度 Rep-i調査では、製薬企業の評価にあたり医師が重視している項目を追加設問（設問文は以下参照）として聴取いたしました。本リリースでは、対象設問の分析事例を一部ご紹介します。

Q. MR活動に限定しない製薬メーカーの取組みの中で、製薬メーカーの総合的な評価に影響する項目を5つまでお知らせください。（20の選択肢から5つまで回答可能）

分析事例：医師が製薬企業を評価する際に重視している項目を把握する

2025年2月度 Rep-i調査に回答した全医師における、重視項目の全体の回答割合のランキングをご紹介します。

Rep-i全回答医師 重視項目ランキングTop5 2025年2月

順位	重視項目	回答割合
1	信頼性の高い臨床データを提供している	38.7%
2	医薬品の安定的な供給が出来ている	32.4%
3	医療の発展に大きく貢献している	29.2%
4	新薬の研究開発に力を入れている	28.3%
5	安全性に関する情報発信が適切である	26.7%

分析結果

製薬企業評価 重視項目20項目のうち最も多く回答された項目は『**信頼性の高い臨床データを提供している**』であり、2位の『**医薬品の安定的な供給が出来ている**』と**6.3pts**の差をつけた。

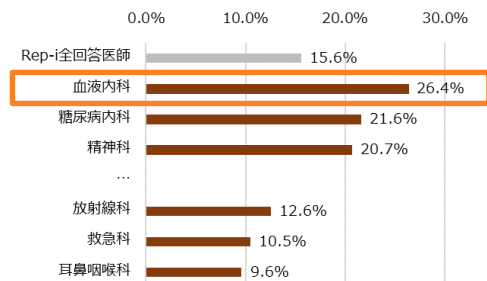
分析事例：重視項目は主診療科によって違いがあるのかどうかを確認する

重視項目の回答傾向が属性ごとに異なることが確認されましたので、本リリースでは血液内科医師の重視項目を例としてご紹介します。

血液内科医師 重視項目ランキングTop5 2025年2月

順位	重視項目	回答割合
1	信頼性の高い臨床データを提供している	39.9%
2	新薬の研究開発に力を入れている	35.9%
3	革新的な製品やサービスを提供している	26.4%
4	医薬品の安定的な供給が出来ている	26.3%
5	医療の発展に大きく貢献している	25.1%

『革新的な製品やサービスを提供している』診療科別回答割合



分析結果

血液内科医師の重視項目ランキングの1位は『**信頼性の高い臨床データを提供している（Rep-i全回答医 1位）**』だった。一方で、1位以外の回答傾向は異なり、血液内科医での2位は『**新薬の研究開発に力を入れている（Rep-i全回答医 4位）**』、3位は『**革新的な製品やサービスを提供している（Rep-i全回答医 Top5圏外）**』だった。さらに、『**革新的な製品やサービスを提供している**』の診療科別の回答割合（右図）では、血液内科医ではRep-i全回答医よりも10pts以上回答割合が高い結果となった。製薬企業を評価する際の重視項目は、医師の属性ごとに傾向が異なる可能性が示唆されている。

！ 考察

血液内科医が診療している血友病/悪性リンパ腫/多発性骨髄腫などの疾患では、直近数年間でCAR-T細胞療法や二重特異性抗体の薬剤をはじめとした多数の新薬が上市している。『**革新的な製品やサービスを提供している**』の回答医師においては、“直近で新薬が上市した企業をより評価するのか”、“既存薬の不満点を解消する新薬の上市を期待して当該項目を回答しているのか”などの仮説が立てられる。

本設問の活用提案

- ✓ “ターゲット医師”や“任意の疾患の治療有無（別調査のDoctor Mindscapelにて聴取）”などの情報と紐づけて、自社の重要顧客が製薬企業評価を行う際にどのような点を重視しているかを確認可能
- ✓ Rep-iの別設問の『製薬企業評価 項目別評価』と組み合わせ、重視項目において自社が評価されているのかを分析可能
※『製薬企業評価重視項目』の聴取項目には『製薬企業評価 項目別評価』で非聴取項目が含まれます

本調査結果や分析例に関するお問い合わせは弊社担当者または[お問い合わせフォーム](#)へご連絡ください

*記事本文並びにデータを無断で転載されないようお願い申し上げます